

こずかた

No.157

令和7年6月20日発行
盛岡市教育研究所
☎019-651-4111 (内7371)
印刷/セーコー印刷 651-3606

学び続ける教師として

盛岡市教育研究所 所長 小林 満



着任して早々、教育研究所内会議に参加した。研究所には、私が教員・指導主事時代に多々教えをいただいた三名の先輩方が専門研究員として勤務している。

盛岡市においても教育を巡る状況の変化はスピード感を増しており、盛岡市教育振興基本計画(二〇二五～二〇二九)を踏まえ、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の増加と多様化、情報化等の社会的変化に対応するための施策が進められる。これら喫緊の課題を踏まえ、「ICTの活用」「不登校対策」

「特別支援教育」について専門研究員による調査研究が進められている。会議では、昨年度の成果と課題を踏まえ、今年度の研究の方向性について活発な協議がなされていた。調査研究への期待とともに研究所長として身が引き締まる時間であった。

『令和の日本型学校教育』を担う新たな教師の学びの実現に向けて(審議まとめ)では、「主体的な教師の学び」、「個別最適な教師の学び」、「協働的な教師の学び」といった「新たな教師の学びの姿」が示された。「協働的な教師の学び」としては「同一校種の他の学校の教師、別の学校種の教師など日常的に接する機会が少ない教師との協働的な学びは、対話を通じて、他の教師の教育実践を傾聴したり、自らの教育実践を振り返ったりすることで自らの経験を再構成することにつながり、専門職と

しての教師の成長がより深化していく。」と示されている。

教師は学び続ける存在であることが強く期待されている。研究所研究発表大会を盛岡市の先生方の協働的な学びの場とし、ぜひ主体的に参加いただき、調

査研究を各校の教育活動に還元していただくことを期待したい。

専門研究員の先生方は学校に足を運ぶなどして着実に調査研究を進めている。私も頼もしい先輩方のように盛岡の教育に尽力したい。

幼児ことばの教室

こずかた写真館 ⑤⑥

「ペアレント・トレーニング」



ペアレント・トレーニングとは、保護者が子どもの行動を理解して、より適切な接し方をするための練習プログラムです。子どもの良いところを見つけ、理解を深め、親と子のより良いコミュニケーションで楽しく家庭生活ができるようにするためのものです。

7年度前期は、5/8、20、6/5、18、7/4、16に開催します。保護者だけではなく保育士等、子育てに関心のある方々が参加してください。

【問合せ先】幼児ことばの教室(桜城小・佐々木)(杜陵小・谷地田)

盛岡市教育振興推進委員会総会・講演会

盛岡市の教育振興運動は、今年度60年目を迎える歴史ある市民運動です。また、第12次5か年計画の最終年となります。

実践のさらなる充実をめざし、運動の方向性を明らかにする場、そして研修の場として、令和7年5月20日（火）、都南文化会館（キャラホール）にて、盛岡市教育振興推進委員会総会・講演会を実施しました。

また、岩手大学 副学長 宮川 洋一 教授を講師としてお招きし、「今求められている情報活用能力と情報モラル」と題して、講演いただきました。

役職	所属・団体	所属団体での役職	氏 名
会 長	盛岡市教育委員会	前教育長	千 葉 仁 一
副会長	盛岡市町内会連合会	会長	小枝指 好 夫
副会長	盛岡市防犯協会	副会長	大 畑 正 二
副会長	盛岡市 PTA 連合会	会長	藤 田 健一郎
副会長	盛岡市小学校長会	会長（北松園小学校長）	有 馬 賢
副会長	盛岡市中学校長会	会長（土淵中学校長）	及 川 公 子

令和7年度の総会は、学校関係者をはじめ、様々な立場の地域の方々をお迎えし、249名の参加をいただきました。令和6年度盛岡市教育振興運動事業の報告の後、令和7年度盛岡市教育振興運動事業計画、中学生社会参加活動促進事業、令和7年度推進委員会役員について協議を行い、全ての議題について承認いただきました。

続いて、岩手大学 副学長 宮川洋一教授による講演会を行いました。「情報メディアとの共生」は、盛岡市教育振興運動の重点の一つでもあります。学校関係者だけではなく、

く、地域住民や市議会議員等が参加する総会で、情報活用能力は自分の考えを形成していくために必要な資質・能力であることや、児童生徒を取り巻くICT環境の現状やその利用実態を知ることの大切さについて、講演の中でお話しいただきました。参加者の皆様からは、「非常に学びの多い講演内容だった。児童生徒が情報活用能力を高めていくために、今が指導のチャンスであると感じた。」「情報モラルについて現状をしっかりと捉えらるとともに、子どもたちがICTの利用の仕方を考えられるようにしていきたい。」等、

【令和7年度地区別集会実施予定】

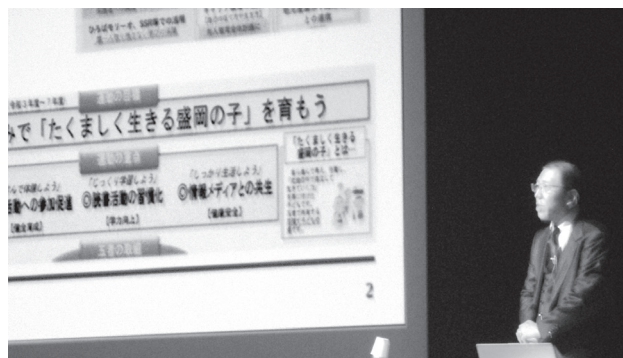
地区（発表学校区）	日 時	会 場
第Ⅰ地区集会 ○仙北小学校区	11月15日（土） 10:00～11:30	仙北小学校
第Ⅱ地区集会 ○大新小学校区 ○城西中学校区	11月8日（土） 10:00～11:30	城西中学校
第Ⅳ地区集会 ○松園中学校区 ○北松園中学校区	11月1日（土） 13:00～14:30	松園地区公民館
第Ⅴ地区集会 ○杜陵小学校区 ○大慈寺小学校区	10月11日（土） 10:00～11:30	盛岡劇場
第Ⅵ地区集会 ○見前小学校区 ○羽場小学校区 ○見前中学校区	10月4日（土） 9:30～11:00	都南文化会館 （キャラホール）
第Ⅶ地区集会 ○巻堀小学校区 ○好摩小学校区 ○巻堀中学校区	11月9日（日） 10:00～11:30	姫神ホール
第Ⅲ地区集会	令和7年度	発表なし

高評価いただきました。

「たくましく生きる盛岡の子」を育むために必要な地域・学校・家庭・子ども・社会の五者の連携について、再確認する貴重な機会となりました。

10月から、今年度の割当となっている6地区の地区別集会が始まり、2月7日（土）には実践発表大会をマリオスで行う予定となっております。

今後も盛岡市の教育振興運動事業への、御支援・御協力をお願いいたします。



【宮川教授による講演会の様子】

令和7年度 盛岡市学力向上推進事業について

「全ての子どもたちの可能性を引き出す授業の実現」へ 授業改善を通じた学力向上への取組推進

本市では、学習指導要領に基づき、子どもたちに確かな学力を育成するために、「全ての子どもたちの可能性を引き出す授業の実現」を目指して、令和7年度の学力向上推進事業（図1）を展開しています。

今年度の重点取組は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善です。日常の授業改善を通して、指導者である教師の授業力向上を目指すことが、子どもたちの学力向上へとつながるものと期待されます。

令和7年度 学力向上推進会議

過日開催した「令和7年度学力向上推進会議」において、令和7年度の本事業について説明をし、「日常的な授業改善に向けた『盛岡市授業改善シート（図2）』及び『授業改善強化週間』について共通理解を図りました。

「盛岡市授業改善シート」は、全ての教員が、「子どもを主語にした授業改善ができるよう

に、市教委で作成したシートです。「構想する」「授業をする」「振り返る」のPDCAサイクルを回していけるよう、有効に御活用ください。

演習・協議の時間には、「授業改善シート」を用いて、自校の授業を振り返り、今年度の授業改善強化週間での取組についてグループ協議をしました。協議では、授業改善を通じた学力向上への取組について、次のようなことが話されました。

○強化週間に合わせて改善シートを活用することで全員がよい授業像をもって互見授業を実施できるのではないかと。

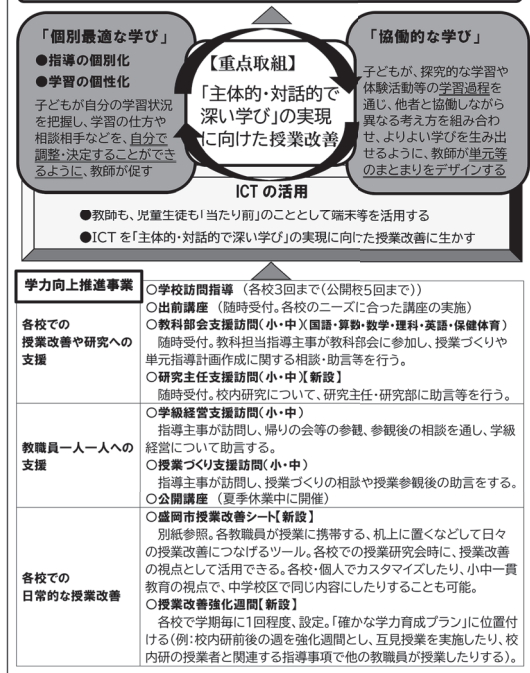
○校内研究会の研究授業において授業づくりの段階で指導主事の訪問事業を活用している。

○中学校区で目指す子ども像を共有し、学習規律等を擦り合わせ、授業改善に役立てている。

演習・協議で得たアイディアを参考に、各学校での授業改善を通じた学力向上の取組を積極的に推進していただきたいと思っています。

盛岡市学力向上推進事業（概要）

【方針】全ての子どもたちの可能性を引き出す授業の実現



【図1】盛岡市学力向上推進事業概要図

盛岡市授業改善シート

番号	分類	項目	教師の授業改善の実施例	評価
1	授業を構想する	指導事項の明確化	学習指導要領を基に、単元や本時のねらい・指導事項を、教師が設定している。	
2			子どもの実態を基に、教師が教えることと、子どもが考えることを明確にして、授業構想している。	
3		育成を目指す子どもの姿の具体	単元末や本時で、子どもが何をできるようになればよいか、 具体的姿（記述、発言等） で教師がイメージを持っている。	
4	授業をする	子どもの気付きなどを生かした学習課題	子どもの気付きや考えから問いを引き出す などして、教師と子どもで学習課題を設定している。	
5		教師と子どものゴールの共有	単元や本時で、何ができるようになればよいかなどの ゴールを教師と子どもが共有 している。	
6		子どもの自己選択・自己決定	子どもが 自己選択したり、自己決定したりする機会 を、教師が設定している。	
7		学びの充実につながる対話	学びの充実につながる対話の機会 を、教師が設定している。	
8		ICT端末の活用	学習活動や指導事項に応じて、 子どもがICT端末を自分で選択して使える ように、教師が指導している。	
9		思考を揺さぶる発問	資料の提示、交流・共有、保存、学習履歴の蓄積など、 教師が効果的にICT端末を使っている 。	
10	授業を振り返る	学びの自覚化	子どもの授業中の言葉を用いるなどして、 学習課題の解決に迫る発問 を教師が行っている。	
11			自分のことばで説明したり、意図的な表現をしたりするなど、子どもが わかったことや疑問などの学びを自覚する機会 を、教師が設定している。	
12		指導と評価の一体化	教師が授業後に、 自分の授業を振り返る機会 を設定している。子どもの姿、子どもの振り返り、互見授業、授業動画などを、教師が自分の指導を振り返った後に、 次の授業に生かそう としている。	

◎：よくできた ○：できた △：もう少し ※：必要がなかった

【図2】盛岡市授業改善シート

次期学習指導要領の改訂を見据えた「授業改善」を

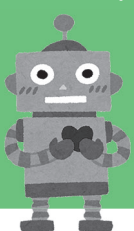
令和6年12月、中央教育審議会諮問があり、次期学習指導要領の策定に向けた動きができました。

この中で初等中等教育について、「習得した知識を現実の事象と関連付けて理解すること、生成AIには扱えない概念としての知識の習得や深い意味理解をすること、自分の考えを持ち、根拠に基づいて他者に明確に説明すること、自律的に学ぶ自信がある生徒が少なくないこと等」

の課題が挙げられています。学習指導要領の理念に立ち返り、「主体的・対話的な深い学び」の実現に向けた授業改善を進めることこそが、子どもたちの資質・能力の育成につながり、ひいては本市全体の学力向上へとつながっていくものといえます。

改めて、今年度の盛岡市学力向上推進事業について、各学校での組織的な取組の推進をどうぞよろしく願います。

ようこそ！「ひろばモリオー」へ



子どもも、保護者も、先生もく

本市の教育支援センターである「ひろばモリオー」では、子どもたちが安心して過ごし、仲間とのふれあいや体験活動等とおして、自分たちの居場所をつくるとともに、自己有用感を高め、自立して生きていくための力を育むことができるように、専門指導員と教育相談員が日々サポートしています。

市内に2か所（青山教室・仙北教室）設置されており、それぞれの教室で多くの子どもたちが、学習や運動などに楽しく取り組んでいます。6年度発行155号では、「ひろばモリオー」が大切にしていることと、1日のスケジュールを紹介しました。本号では、各教室の体験活動等の様子を紹介します。

仙北教室では、5月2日（金）に「春の遠足」を行いました。鉾屋町散策の後、八幡宮を参拝し、「やおやささき」やIBC岩手放送局を見学しました。参加した9名の子どもたちは、友だちとの会話を楽しみながら、地域の歴史や文化に触れたり、働く人の思いに触れたりと有意義な時間を過ごしました。また、遠足

仙北教室「春の遠足～鉾屋町散策～」



らん公園でお弁当を食べた後、みんなで盛岡八幡宮を参拝しました。

仙北教室「フライパンでピザ作り！」



講師の先生たちとの会話を楽しみながら、和やかな雰囲気の中でピザ作りに挑戦しました。

の際は路線バスを利用するのも、子どもたちにとって楽しみの一つになっていきます。5月15日（木）は、フライパンで焼くピザ作りに挑戦しました。生地を一生懸命こねて、初めて自分で焼いたピザの味は格別。教室中に笑顔が溢れました。

両教室とも「春の遠足」「調理実習」「美術教室」等、工夫を凝らした体験活動を行っています。ですが、特に青山教室では、体を動かすことを大切にしており、毎日、体育の時間を設定し、みんなで「バドミントン」を楽しんでいます。先生も加わり、学年問わず、ローテーションでチームを組んで、時間いっぱい試合で汗を流します。ミスをして悔しがったり、勝って大喜びをしたり、友だちの好プレイに驚いたり、笑い合ったり。運動を通して感情を分かち合える、心地よい時間になっています。

青山教室「毎日体育！バドミントン！」



また、青山教室内には、大きな世界地図が掲示されており、地球儀にも触れながら、国名クイズや位置調べを先生と一緒に楽しんでいます。

今、モリオーには、見学を希望する親子や学校の先生がたくさん訪れています。通級している子どもに会いに来てくれる担任の先生や校長先生もいらっしやいます。いずれも各教室に連絡いただき、日程が調整できれば、いつでもどなたでも来室いただけます。

どうぞ、おいでください、「ひろばモリオー」へ！

青山教室～「世界」を学ぼう～



「誰一人取り残さない教育の推進」に向けて

「ひろばモリーオ」サテライト分室の設置

本市では、自分の教室で過ごすことに困難を感じている子どもたちが、校内の教室以外の場所で学習支援や心のサポートが受けられるよう、「校内教育支援センター」の拡充に努めてきました。

また、登校に苦しさを感じている子どもたちが、学校以外の場所で適切な支援が受けられるよう、前頁で紹介した「ひろばモリーオ」の充実を図るとともに、フリースクール等との連携強化に努めてきました。

しかし中には、校内教育支援センターや「ひろばモリーオ」に通うことが困難な子どもや登校してすぐに下校する（いわゆる「タッチ登校」）子どもも多く、そのような子どもたちの「居場所」を保障するために、7年度から「サテライト分室」を開室しました。通いやすい場所、通いやすい時間で利用できるよう、市内4つの公民館（中央公民館・西部公民館・松園地区公民館・見前地区公民館）に設置し、

見前地区公民館）に設置し、申込なく、好きな時間だけ利用できるようにしています。

分室では、各公民館の社会教育指導員兼専門支援員と「ひろばモリーオ」教育相談員等が支援にあたっています。

5月末現在で、のべ13名の利用があり、継続利用は、予定も含め3名です。利用者の中には、自分で学習道具を持つてきて、分室の先生（教育相談員・専門支援員）と学習に取り組む子どももいれば、遊びたいカードゲームを持ってきて、分室の先生と一緒に遊ぶ子どももいます。見学で訪れた親子が、分室のトランプで遊んでいたり、子どもが分室のぬり絵に取り組んでいる間、保護者が教育相談を行ったり等、利用の仕方は様々です。

子どもの状況や保護者のニーズに応じながら、学習の支援や心のサポートに努めています。

分室を利用した日は「指導要録上の出席扱い」とすることができま。利用状況（日数や時間、活動内容等）については学校と情報共有し、支援方針について共通理解を図っていきます。

～各分室の先生方～

社会教育指導員兼専門支援員

- 【中央分室】（中央公民館）
- ・村田 和代 先生
 - ・吉田 竜二郎 先生
 - ・泉 澤 毅 先生
 - ・中村 幸子 先生
- 【西部分室】（西部公民館）
- ・後藤 良子 先生
 - ・佐々木 英幸 先生
 - ・竹花 正太郎 先生
- 【松園分室】（松園地区公民館）
- ・中村 雅彦 先生
- 【見前分室】（見前地区公民館）
- ・高橋 徹 先生

「ひろばモリーオ」教育相談員等

- ・大林 裕明 教育相談員（西部・松園）
- ・田山 英治 教育相談員（中央・見前）
- ・阿部 真一 専門研究員（松園）
- ・山下るり子 所長補佐（4分室）

令和7年度版 「ひろばモリーオ」

サテライト分室 利用案内

～子どもたち一人一人の心の居場所として～

「サテライト分室」とは？

…学校に行けない、休みが続いている、様々な不安を感じている子どもたちや、モリーオに行くのも難しい、家からなかなか出られない子どもたち…

「サテライト分室」は、その子にとって安心できる空間・時間となるよう、一人一人に寄り添った「居場所」づくりに取り組んでいます。

Q：毎回行けるか不安だけど…
A：来れる日に、居られる時間だけ利用していいですよ。場所も色々あるので、分室カレンダーで確認してくださいね。

Q：やりたいことが分からないけど…
A：来室してから一緒にゆっくり考えましょう。焦らずに、自分のペースで大丈夫ですよ。

Q：勉強が気になってきたんだけど…
A：希望に応じて、学習のお手伝いもできますよ。学校のプリントやタブレット学習など、一緒に取り組みましょう。

Q：分室ではどんなことができるの？
A：カードゲーム等で室内遊びができますよ。机があるので学習にも集中できます。教室によっては本もあるので、読書も楽しめそうですね。おうちから好きな本を持ってきて読んでもいいですよ。

場 所	①中央公民館 1階和室 ②西部公民館 2階パソコンルーム ③松園地区公民館 別館3階第2研修室 ④見前地区公民館 2階視聴覚室	※公民館の駐車場をご利用ください。ただし、公民館行事等で、満車になることもありますのでご了承ください。 ※各施設の事務室や分室で、受付をお願いします。
開室日時	○開室日 裏面「分室カレンダー」でお確かめください。 ○開室時間 9:30～11:30	※開室時間（9:30～11:30）の中で、自由に来たり帰ったりすることができます。
活 動 例	・室内遊び（お絵かき、ぬり絵、折り紙、オセロ、トランプ等） ・学習（学習プリント、問題集、タブレット等） ・読書	※左記の室内遊び道具を家から持参して構いません。他の道具等についても相談に応じます。 ※親子で過ごしても構いません。 ※スマートフォン等の利用は、保護者との連絡、学習動画の視聴以外は原則認めておりません。

※基本、一人で取り組めるものとし、お子さんの希望に応じて、遊びの相手や、学習のお手伝いします。

事前の申込はいりません！

開室日、直接公民館に来て見学することも、お試利用することもできます。

まずは、一歩ふみ出してみませんか！

通級する気持ちが出てきたら…

- ①「通級相談申込書」の記入
- ②本人・保護者との面談
- ③通級計画の相談
- ④「通級申込書」を学校へ提出

★ 分室での活動の様子は、担当者より学校へ伝えます。

お問い合わせ

盛岡市教育研究所
担当 所長補佐
(Tel. 639-9049)

令和7年度

盛岡市教育委員会 初任者研修会

春の穏やかな光に照らされ一層美しく咲き誇るしだれ桜に囲まれた盛岡先人記念館で、4月30日(木)に「令和7年度盛岡市教育委員会初任者研修」を行いました。

開会行事の後、一人ずつ、意気込み等を交流する「自己紹介」の時間を設けました。これからの長い教員人生を共に歩む「同期」となる皆さん。親睦を深め、固い絆で支え合っていくってほしいと思います。

講話「盛岡市の教育」では、多田教育長から、教諭時代のエピソード、岩手県教委時代の東日本大震災の対応、盛岡の先人教育などについて、御自身の経歴を踏まえながらのお話を伺い、改めて教師の魅力、使命、心構えについて自覚を深めることができました。説明「盛岡市の学校教育の推進・充実に向けて」では、学力向上の推進、体力向上の推進、生徒指導の充実、特別支援教育の充実について、共通理解を図りました。

午後は「盛岡の先人教育」について、盛岡市先人記念館鈴木美成館長より講話をいただき、その後、館内見学を行いました。学芸員の方に説明をいただきながら、新渡戸稲造、金田一京助、米内光政ら盛岡の先人について理解を深めました。

自己紹介や振り返りの中で、多くの先生方から「学び続ける

教師でありたい」という声が聞かれました。頼もしい限りです。

「すべては

子どもたちの

笑顔のために」

共に心を尽くしていきましよう。



フレッシュ先生の紹介 ～ 今後の抱負を伺いました ～



～先人記念館見学後、桜の木の前で見学グループ毎に写真を撮りました～

◇山岸小 鎌田 あすか
児童の気持ちに寄り添う姿勢を忘れず、元氣よく笑顔な先生になれるよう頑張ります。

◇山岸小 岩間 のどか

たくさんの方に挑戦して、子どもたちと共に成長することのできる教師を目指します。

◇中野小 菅原 樹実

子どもたちが毎日楽しく学校生活を送れるよう、全力で子どもと向き合っていきます。

◇中野小 藤村 真樹

子どもたちが成長を実感できるよう、自らも全力で挑戦・成長し続ける1年にします。

◇本宮小 千葉 愛佳

常に学ぶ姿勢を忘れず、元氣いっぱいの子供と一緒成長していけるよう頑張ります。

◇青山小 金野 彩音

元氣いっぱい3年生と共に学び、たくさん遊んで、一緒に成長の1年にします。

◇青山小 藤井 優那

何事にも全力で向き合い、子どもたちと共に成長し合う1年間になるよう頑張ります。

◇上田小 高橋 美侑

笑顔と謙虚な気持ちを大切に、子どもたちと共に成長できるよう頑張ります。

◇厨川小 脇田 紀久子

研修で学んだことをこれからの子どもたちに還元するために学ぶ姿勢を大切にします。

◇桜城小 杉村 侑紀

子どもを第一に、安心できる環境を整え、共に成長できるように努めてまいります。

◇仙北小 芳賀 想

子どもたちの成長を支えられるよう、自分自身、学び続けていきたいと思えます。

◇仙北小 中澤 里彩

子どもたちの元氣と笑顔を増やせるように、居場所づくりと授業づくりに励みます。

◇緑が丘小 前原 昭太
子どもの可能性を信じて、一人ひとりの良さを伸ばせるように一生懸命頑張ります。

◇太田東小 上野 永遠
先生方や子どもたちからの学びを積み重ねて、安心できる居場所づくりを頑張ります。

◇太田東小 菅原 優紗
子どもたちの周りの環境を工夫し「できる・楽しい」が増やせるよう頑張ります。

◇城北小 小林 彪雅
子どもから多くのことを学び、今後につなげていきます。1年間笑顔で頑張ります。

◇城北小 笹平 志保子
子どもたちが安心して過ごせるよう、一人一人を丁寧に見て支えていきます。

◇大新小 道下 瑞葵
子どもたちと全力で考え、全力で学び、全力で遊び、笑顔いっぱいになります。

◇大新小 佐藤 大和
担任から学び続ける姿勢を示し、子どもたちに良い影響を与えられる先生になります。

◇松園小 千葉 香穂
明るく素直な子どもたちと一緒に、笑顔いっぱい、温かいクラスをつくりまします。

◇月が丘小 田高 悠里
子どもたちと共に学び、子

どもたちの良さを伸ばしていけるよう頑張ります。

◇高松小 熊谷 由貴
子どもたちが、安心して自分の良さを伸ばすことができるよう、焦らず頑張ります。

◇東松園小 小幡 国男
盛岡、岩手の子どもたちの成長に少しでも貢献できるように、精一杯頑張っていきます。

◇見前小 長谷川 歌音
常に学び続ける姿勢をもち、子どもたち一人一人と真剣に向き合っていくたいです。

◇飯岡小 福士 涼
たくさんのかんことを吸収し、目の前の子どもたちと一緒に成長できるよう頑張ります。

◇羽場小 山根 愛絵
毎日、子どもたちと笑い合い、成長できるよう、努力と笑顔を大切に全力で頑張ります。

◇永井小 篠畑 はづき
学び続ける姿勢を大切に、素直で元気な子どもたちと共に成長していきます。

◇手代森小 山下 稔弘
子どもたちが楽しく元気に学校に来ることができるような学級をつくりたいです。

◇津志田小 照井 陽道
何事にも全力で取り組み、子どもたちと一緒に成長する1年にしていきます。

◇津志田小 佐々木 奏来
何事にも真摯に取り組み、子どもたちと共に成長し続けられるよう頑張ります。

◇向中野小 豊田 琉聖
自分も児童と一緒に学んでいけるように何事にも全力で取り組んでいきたいです。

◇向中野小 佐々木 優海
笑顔あふれる毎日を目指し、何事も学び続ける姿勢で取り組んでまいります。

◇下小路中 吉田 大将
生徒と共に学校を楽しみ、確かな学力を身に付けられる授業を目指し、頑張ります。

◇下小路中 松場 柊子
生徒一人ひとりが安心して学び続けられるような学級づくりに励みます。

◇厨川中 佐久間 優衣
子どもたちと共に何事にも積極的にチャレンジし、成長する1年にしたいと思います。

◇厨川中 松山 桃果
常に学び続ける姿勢を忘れず、生徒を第一にした授業や学級づくりをしていきたいです。

◇上田中 杉本 一晟
何事にも全身全霊で取り組み、力をつけていけるよう頑張ります。

◇河南中 岩田 崇
初心を忘れず、生徒たちと

共に成長できるように一生懸命頑張ります。

◇河南中 前田 美桜
初心を忘れず、生徒に寄り添い、生徒と共に成長できるよう日々努力していきます。

◇仙北中 吹上 諒真
笑顔を絶やさず、生徒一人ひとりが安心して過ごせる学級づくりを目指します。

◇仙北中 石塚 茉紘
子どもたち一人ひとりと真剣に向き合いながら、毎日大切に、全力で頑張ります。

◇米内中 須合 宥太
先輩や研修で学びを深め、盛岡市の教員として、資質・能力の向上に励んでいきます。

◇土淵中 古澤 菜々美
子どもたちと共に、日々学びながら楽しく分かりやすい授業づくりを心がけます。

◇土淵中 渡部 希沙
何事にも一生懸命取り組み、生徒と向き合い、共に成長していきたいです。

◇黒石野中 能登 一摩
分からないことは沢山聴き、学校現場で早急に力になれるよう努めてまいります。

◇城東中 佐藤 開
子どもたちと一緒に、何事にも全力で取り組み、共に成長できるよう頑張ります。

◇北陵中 菊池 貫太
学びの楽しさを伝えるため、自身も楽しく授業をしていきたいと思っています。

◇北陵中 田口 晃多
「笑顔・元氣」を意識して、子どもたちと共に成長できるように一生懸命頑張ります。

◇松園中 中村 美月
生徒たちと信頼関係を築きながら、常に謙虚に、全力で頑張ります。

◇見前中 白藤 健太郎
子どもたちの成長を第一に考え、成長をねらった言動を常に心がけます。

◇見前中 菅野 桜
生徒一人ひとりを見捨てずに向き合い、生徒と主に成長できるよう頑張ります。

◇乙部中 浅利 健太
一つ一つ丁寧に行うことを心掛け、強い意志と想いをもって、全力で駆け抜けます。

◇見前南中 伊藤 凜大
生徒たちも私も1年生です。生徒たちと共に「初めて」に全力でぶつかっていきます。

◇北松園中 宇口 巧真
何事も全力で取り組み、生徒、教員、保護者から信頼されるよう頑張ります。



盛岡市教育研究所 公開講座の御案内

- ◆ 期 日 令和7年7月31日(木)、8月1日(金)、※特設講座 7月30日(水)
- ◆ 参加者 市内保育所(園)・こども園・幼稚園・小学校・中学校教職員のうち受講を希望する者
- ◆ 日程及び内容【会場】 (講師、非常勤講師等を含む。)

【1日目(7月31日(木))】

9:30 9:45 9:50			11:50 13:00 13:15 13:20			15:20		
受 付	開 会 行 事	【講座（120分）】		休 憩	受 付	開 会 行 事	【講座（120分）】	
		① 情報リテラシー講座 ※悉皆	【オンライン】				⑤ ICT 活用講座（デジタル教科書・小学校英語）【オンライン】	【オンライン】
		② 教育相談基礎講座 ※悉皆	【都南公民館】				⑥ 小・中体育実技講座	【西部公民館】
		③ 盛岡の先人ウォーク体験講座	【屋 外】				⑦ 幼・保・小接続を意識した幼児教育講座	【都南公民館】
		④ 特別支援教育講座Ⅰ	【都南公民館】				⑧ 石川啄木講座	【啄木記念館】

【2日目(8月1日(金))】

9:30 9:45 9:50		11:50 13:00 13:15 13:20				15:20		
受 付	開 会 行 事	【講座(120分)】		休 憩	受 付	開 会 行 事	【講座(120分)】	
		⑨ ICT 活用講座(デジタルドリル)					⑬ ICT 活用講座(デジタル教科書・算数・数学)【オンライン】	
		⑩ 小・中授業づくり講座(道徳)					⑭ ICT 活用講座(デジタル教科書・中学校外国語)【オンライン】	
		⑪ 盛岡の先人講座					⑮ 生徒指導講座(不登校)【都南公民館】	
		⑫ コミュニティ・スクール講座					⑯ 特別支援教育講座Ⅱ【都南公民館】	

【特設講座(7月30日(水))】

⑰ 思春期講演及び思春期保健教室 ※(10:30～12:00)	【都南公民館】
⑱ 自殺予防教育講座 (13:20～16:00)	【都南公民館】

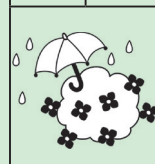
※オンライン講座以外の講座は、定員を超える申込みがあった場合、抽選とさせていただきます。
 ※当公開講座についてのお問い合わせは、教育研究所：佐藤までお願いいたします。 TEL 651-4110 (内 7335)

専 門 研 究 員 研 究		委 託 研 究	
1 児童生徒の不登校対策に関する研究	阿 部 真 一 専門研究員	1 学校教育相談に関する実践研究	盛岡市教育相談事例研究会 盛岡市立北松園小学校
2 小中学校におけるICT活用に関する研究	佐々木 秀 一 専門研究員	2 小中学校におけるキャリア教育の在り方に関する実践研究	キャリア教育研究会 盛岡市立仙北中学校 盛岡市立仙北小学校 盛岡市立向中野小学校
3 特別支援教育に関する研究	杉 本 光 生 専門研究員	3 学校における盛岡の先人教育の実践研究	先人教育委託研究会 盛岡市立洪民中学校区
研 究 員 研 究			
1 算数・数学科における実践研究	2 中学校外国語科における実践研究	3 小中学校における「体力向上」に関する実践研究	4 小中学校におけるICT活用に関する実践研究
高 橋 美 緒 (上田小) 佐 藤 久美子 (土淵小) 八重樫 舞 果 (見前南中) 富 谷 昌 行 (城西中)	八重樫 千 晶 (仙北中) 竹 原 祝 子 (松園中) 藤 田 和 也 (下小路中) 小 野 建 (乙部中)	千 葉 貴 大 (緑が丘小) 井 上 陽 仁 (津志田小) 館 林 啓 二 (大宮中) 佐々木 航 (厨川中)	仁王小学校 下橋中学校 向中野小学校 城東中学校

【研究事業】

今年度、研究員研究、委託研究、専門研究員研究、合わせて10の研究主題を設定し、取り組んでいます。合

あ
と
が
き



▼母親の後ろに隠れ、怯えながらサテライト分室を訪れる子ども。会話や遊びを通して徐々にその子らしいキラキラとした笑顔が戻る。「推し」や「趣味」の話が止まらなくなる。ある歌を口ずさみ「体育祭で歌った」と呟く。少し視線を落とした。「眼聴耳視」の心で寄り添い続けたい。▼多くの大人たちがそう願う、ペアレントトレーニングや各研修会に多くの教師や保護者が集う、すべては子どもたちの笑顔のために。決して小手先や技術ではない、「子どもを知らう」とする愛情の深さを再確認する場ともなる。▼子どもたちのために学び続けることは、自分のありようを問い続けることでもあり、まさに自身の人間性を錬磨していく道であると言えまいか。諸先輩方の教えの意とするとところを考え、不易の心を守るべく流行の取り入れを柔軟に行える初任の先生方からも学ぶことは多い。▼巻頭言の「教師は学び続ける存在」という言葉を肝に銘じたい。学び続けるための資質・能力を持ちあわせ、姿勢を示し、影響を及ぼす存在意義として自覚的に人間性を磨き高めることが、子どもたちの幸せにつながると思ひて。